

## 第21回インフォメーション・ミーティング 主な質疑応答

Q：資本政策について、バーゼルⅢの早期適用により2%程度の自己資本比率上昇との説明があったが、完全実施ベースまで織込むと、その後何%の自己資本低下を見込んでいるか。また、足元の地銀他行の傾向として「自己資本比率10%を上回るものについては株主への還元強化や投資への活用を図る」等の自己資本活用の明示が進んでいると感じるが、貴行が他行傾向より高い自己資本を必要とする理由はなにか。

A：2024年3月までに2%の自己資本上昇を見込み、その後2029年3月末時点では13%程度の水準を試算している。北海道の産業構造は建設業・サービス業が多く、製造業が少ないため他地域に比べ産業構造は脆弱である。当行が積極的に中小企業融資に取り組むためには他行より高い自己資本を維持していく必要がある。当行の利益水準にもよるが、今後も一定の資本は必要と考えている。

Q：次期中期経営計画における株主還元の考え方は、期間利益を還元していく方針となるのか。

A：次期中期経営計画の配当方針については現在議論中ではあるが、現状の制度方針を変える方向にはなっていない。当行は業績連動配当制度を導入しており、過去から同制度の配当基準を引き上げてきた。業績連動部分でも確りと配当できることを考えている。

Q：有価証券運用について、現状では外国債券の評価損は大きく膨らんではいないが、今後一定の損切りは行っていくのか。また、外国債券に対する運用方針はいかがか。

A：2022年上期に若干の外国債券売却を行った。2022年下期は一部逆ザヤとなる保有債券がマイナス要因となるが、現状の保有額はそう大きくはないことから、もう少し様子をみて判断する。米国債券を中心とした外国債券運用は、米国景気・金利・為替動向を見た中で、然るべき時期が来たら購入していく。

Q：TSUBASAシステム共同化について、具体的な費用増加額はどの程度となるのか。また、来期への影響はあるのか。

A：2022年上期はシステムコスト8億円を計上、下期は56億円の計上を見込み、通期合計64億円のコスト増加が想定される。なお、増加コストの内訳は経費分で約55億円、資産の除却損分で約12億円。いずれも計画通り進捗している。来期については、これまでのランニングコストが減少する一方で、システム関連資産の減価償却費が増加するため、概ね増減なしを見込んでいる。

Q：単体役務収支は伸び悩んでいる印象を受けているが、反転する時期はいつ頃を見込んでいるか。

A：当行の役務収支は他行と比較しても、為替手数料による割合が高く、キャッシュレス化の進行等で為替手数料は低減傾向にある。減収をカバーするために、アドバイザー業務でのご提案やコンサル子会社と連携したコンサルティング業務に注力し、収益を計上していく方針としている。すぐ反転していくとは申し上げられないが、北洋証券を中心とした個人向けアドバイザー業務

とHKPと連携した法人向けコンサルティング業務の体制を強化し、次期中期経営計画において3社の連携を柱とした収益確保についてまさに議論している。

**Q：次期中期経営計画の議論では、具体的にどのようなことが挙げられているのか。**

A：地域銀行としてのビジョンを掲げ、そこにどんな戦略を持っていくのかを議論している。議論の根底にあるものは2年前に改定した経営理念であり、お客さまのニーズがどこにあるのかを確りと把握することにある。個人のお客さまの資産形成ニーズや法人のお客さまの事業承継・M&Aニーズは今後更に高まっていくことが想定され、そこに当行としてどのような体制・戦略で臨むべきなのかを議論している。

**Q：システム共同化以外の経費削減は進まなかったのではないかと。システム共同化後、今後はどの分野で経費削減が進められると考えているか。また、共同化によってブランチインブランチのような施策が進まなかったことはないか。**

A：今回の共同化の大きな目的は、法制度対応や高度化等の開発コスト等、一行では負担の大きい各種コストを数行でシェアすることによる負担軽減が挙げられる。新たなシステム開発や積極投資を行う際の個別行の負担が軽減される。足元では共同化に付随した職員の時間外勤務も増加しており、共同化終了後はこの分野の費用削減も見込まれる。ブランチインブランチについては、共同化の作業負担を考慮して、今期中期経営計画中に予定していたものは前倒しで完了した。これで終わりということではなく、次期中期経営計画の中でも必要に応じて検討していく。

**Q：現在の貴行の株価水準について、どう考えているか。**

A：当行の各種指標を見ると、もう少し高くても良いと感じる部分もあるが、マーケットが見ている地域銀行の収益性や将来性を踏まえた現時点の評価なのかと真摯に受け止めている。

以上